



青と緑が織りなす 活気あふれる村

ONNA VILLAGE 2020

青と緑が織りなす活気あふれる村
恩納村



2020
恩納村村勢要覧



2020
恩納村村勢要覧



2020

恩納村村勢要覧

〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
TEL.098-966-1200(代) FAX.098-966-2779

Onna Village Office
2451 Aza Onna, Onna-son, Kunigami-gun,
Okinawa Prefecture





ONNA VILLAGE

Onna Village – A Dynamic Community Symbolized by the Blue and Green of its Nature

Onna Village's abundant nature and friendly populace have remained largely unchanged from the Ryukyu Kingdom Era to its current municipal form today. During this time, Onna Village has been home to Gosamaru, a Ryukyuan lord of Yamada Castle during the Sanzan era (1322 to 1429), and known as a center of Ryukyuan music, having produced notable female singers including Unna Nabi and Yoshiya Chiru.

Onna Village's development and remarkable progress can be attributed to the collective dedication and hard work of its forefathers and these efforts are what have enabled our village to contribute to the regional economy as a tourism resort village and provide a more enriching lifestyle to residents.

Given this, we are committed to building bonds between our history, culture and residents based on the initiatives established by the village thus far. We are also promoting international exchange through tourism resorts and the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University. Our other goal is further to enrich our education and welfare programs.

Onna Village is dedicated to the development of a positive and comfortable living environment that provides safety and peace of mind to each and every resident, from its children to the elderly.

This brochure about Onna Village was published to highlight the current happenings in our community and our future aspirations to a wide audience both in Okinawa Prefecture and around the world. It is my sincere hope that many readers will be able to develop a deeper understanding and affinity for Onna Village through this brochure.

Yoshimi Nagahama Mayor Onna Village

— 我した恩納村 青緑清らさ 肝心据えて文化（花）ゆ咲かさ —

恩納村村長
長浜 善巳



琉球の三山統一期に山田城を居城として活躍した護佐丸、琉歌の里恩納村が生んだ有名な女流歌人・恩納ナビーと吉屋チルーなど、琉球王府時代から恩納間切りとして今日まで、村の形態や豊かな自然と人情あふれる姿は変わることなく歩み続けております。

恩納村の発展と目覚ましい進展は、先人たちのたゆまぬ努力により築き上げられたものであり、観光リゾート村としての地域経済発展と豊かな村民生活の向上をもたらしてきました。

これらの状況を踏まえ、今日まで本村が築き上げてきた取り組みを礎に歴史・文化と村民の絆を育むとともに、観光リゾートや沖縄科学技術大学院大学との国際的な交流を推進し、教育・福祉などの更なる充実を図ってまいります。

そして、子どもからお年寄りまで村民一人一人が快適に安全で安心して暮らせる環境が整備された住みよい村づくりを推進してまいります。

この村勢要覧は恩納村の現状と未来への展望を広く県内外へ紹介するために発刊いたしました。多くの方々にご覧いただき、恩納村へのご理解と愛着への一助としていただければ幸いに存じます。

輝く自然、薫る文化、息づく営み

CONTENTS

- 02 歴史散策 国頭方西海道
- 04 【特集】伝承芸の技
- 06 産業まつり・うんなまつり
- 08 村産品
- 10 恩納村の概要
- 12 イラストマップ
- 16 サンゴの村宣言
- 18 観光業
- 20 商工・製造業の振興
- 22 農業の振興
- 23 水産業の振興
- 24 教育・文化
- 26 健康・医療・福祉
- 28 環境
- 30 防災
- 31 交流事業
- 32 議会
- 33 行政
- 34 字紹介
- 36 村章・村木・村花・村民憲章

青と緑が織りなす活気あふれる恩納村



表紙について

キャッチコピーとリンクさせるように青と緑の混色で恩納村の自然の豊かさや海の透明感をイメージしています。

2020年恩納村・村勢要覧
編集 恩納村役場
発行 恩納村役場
〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
TEL 098-966-1200
www.vill.onna.okinawa.jp/



恩納村役場モバイルページへはQRコードからか、左記のURLを携帯へ送信してご覧下さい。

王府時代の海道をたどる 歴史散策

Historical Walk along
the Kunigamiho Seikaido Road



琉球王朝時代(1429～1879)には、王府があった首里と各間切の番所をつなぐ主要道「宿道」が作られました。首里を起点に「国頭方」「中頭方」「島尻方」などのルートがありましたが、その中で首里から浦添を経て読谷、恩納、名護、今帰仁と沖縄本島西側を通る宿道は「国頭方西海道」と呼ばれています。

このうち、恩納村では保存状態のよい仲泊の一里塚から真栄田の御待毛までの間が「歴史の道」として整備されています。道の周辺には「山田城跡」「護佐丸の父祖の墓」「フェーレー岩」「真栄田の一里塚」など多くの史跡が点在しており、気軽に歴史散策が楽しめます。

国頭方西海道



① 仲泊の一里塚

宿道には一里(約4km)ごとに塚が築かれ、距離の目安とされました。仲泊の一里塚は自然の丘を利用した塚で、ここから一里先に真栄田の一里塚があります。一里区間を示す2つの一里塚が残っているのは恩納村だけで、貴重な文化財になっています。



② 仲泊遺跡

4つの貝塚と洞窟内遺跡(約3,500年～1,500年前)、比屋根坂石畳道からなる遺跡。石畳道を登った台地はイユミバンタ(魚の群れを確認するための高台)と呼ばれています。比屋根坂石畳道は1909年の薩摩の進攻時に琉球王府軍が戦った古戦場とも伝えられています。



③ 山田谷川の石碕

山田グスクの北側崖下を流れる谷川に架けられた石造りの橋。琉球石灰岩野面積みの桁部分は、中央部がせりあがった独特のアーチ型になっています。山手側の奥には近年まで沐浴場として利用されたといわれています。



⑤ 護佐丸父祖の墓

代々山田グスクの主とされてきた護佐丸の祖先の墓。石灰岩洞穴を利用して作られた墓には、1740年に修理したときの石碑が完全な形で残っています。



⑦ 真栄田の一里塚

土と炭を混ぜて人工的に作られた土塚で、かつてその上には琉球松などが植えられていました。仲泊の一里塚から真栄田の一里塚までちょうど一里(約4km)あります。

⑧ 真栄田の御待毛

琉球王国時代、国王や上級役人が地方を巡る時には、道沿いの村人が集められて荷役をしました。このような人々が国王や役人を迎えるときに使われた広場を御待毛と呼んでいます。



④ 山田グスク

山田按司の居城といわれているグスク。3代目按司の護佐丸は、尚巴志の三山統一に貢献しました。護佐丸は1416年、尚巴志の命で北山討伐を成し遂げた後に、座喜味に居城を築きますが、その際、山田グスクの石垣を手渡しで運ばせたと伝えられています。

⑥ フェーレー岩

この辺りはかつて樹木が生い茂り、昼間でも薄暗い山道で、昔はフェーレー(山賊)が出没すると言われていました。フェーレー岩とよばれる岩の上から通行する人の荷物をかぎ針などで吊りあげて奪ったという伝説が残っています。

フェーレー岩の伝説



昔、多幸山は国頭方西海道のけわしい山道でした。その道の途中に「石くびり」というところがあり、大岩が両側にそぼだっていました。その岩がフェーレー(山賊)が出没したという伝説の場所で、フェーレー岩と呼ばれていました。フェーレーは岩の上から、先にかぎ針をつけた長いさおで、下の道を通る旅人の頭に載せた荷をひったくったといいます。困った王府は、一人の女性に大きく重い石を風呂敷につつんで頭上に載せてもらい日暮れ時にフェーレー岩の横を通らせることにしました。女性を見つけたフェーレのかぎ針で風呂敷包みをひっぱり上げようとしたが、中の石の重みにひっぱられて岩上から落ちてしまいました。そこへ隠れていた役人が出てきて捕まえたということです。

Tracing a Road of the Ryukyu Kingdom Period

During the Ryukyu Kingdom Period (1429 to 1879) major roads called shukumichi were built to connect Shuri, the palace of the Ryukyu Kingdom, with the guardhouse, or bansho, of each hamlet. Various roads were constructed that began at Shuri, including Kunigamiho, Nakagamiho, and Shimajiriho. The road that ran along the western side of the main island of Okinawa was called Kunigamiho Seikaido, and it spanned from Shuri through Urasoe to Yomitan, Onna, Nago and Nakijin.

In Onna Village, the well preserved portion of this road between the ichirizuka road marker at Nakadomari to the Umachimo plaza at Maeda has been redeveloped as a historical trail. The area is dotted with a number of walkable historical sites, including the ruins of Yamada Castle, the tomb of Gosamaru's ancestors, the Fere Rock and the Maeda ichirizuka road marker.



伝承

Techniques and Soul of Traditional Performing Arts



古えを偲び、伝統を尊ぶ心

芸の技

ウスデーク

沖縄本島各地や周辺離島で昔から演じられてきた民俗芸能で、ウシデークともいいます。女性のみで円形になって踊り、農作物の豊穡祈願と感謝を奉納します。恩納村では仲泊、富着、谷茶、恩納、名嘉真の各字で行われています。

Usudeku

Usudeku (also called ushideku) is a form of entertainment at festivals in which female performers dance in a circle to give thanks for a bountiful harvest. In Onna Village usudeku is performed by each community, including Nakadomari, Fuchaku, Tancha, Onna, and Nakama.

エイサー

エイサーは主に沖縄の旧盆の最終日(ウークイ)の夜に、精霊の供養のために踊られる民俗芸能で、沖縄本島中部を中心に、県内各地で行われています。

恩納村でも各字の青年会が中心となって、それぞれ独自のエイサーを継承しており、エイサーを通して若者たちに連帯感が生まれ、地域活性化にもつながっています。

Eisa

Eisa is a traditional dance performed to honor ancestors mainly on the final night of Okinawa's Obon Festival. Eisa is performed throughout Okinawa Prefecture, but mainly it is performed in the central part of the main island of Okinawa.

In Onna Village, youth group's from each community have passed down their own unique form of eisa dance, which serves as a sense of solidarity among them and also helps to revitalize the local community.



南の島(フェーヌシマ)

三線の演奏にのせて意味不明な言葉を発しながらおどる棒踊り芸能で、南方系のもとのといわれていますが、詳しいことは分かっていません。仲泊、名嘉真の豊年祭で踊られています。

Fenushima (Island of the South)

The fenushima is a bo (stick) odori dance where dancers perform to the sanshin while letting out nonsensical phrases. It is said to have originated from the south, but the exact details of its origin remain unknown.



豊年祭

旧暦8月10日前後、1年間の五穀豊饒に感謝し、来年の豊年を予祝するために行われる伝統行事。各字ごとに、組踊や琉球古典舞踊、雑踊り、獅子舞など様々な芸能が演じられます。これらの芸能は、かつての琉球王府の下で作り上げられたものや、明治以降に庶民に親しみやすいように創作されたものがうまく調和されながら奉納芸能として今日まで伝えられています。

Harvest Festival

The Harvest Festival is a traditional event held around August 10 of the Chinese lunar calendar in order to give thanks to a bountiful harvest in the previous year and to offer wishes for another bountiful harvest the following year. The festival features performances of kumiodori combination dances, traditional Ryukyuan dance, zo odori dance, and the Chinese lion dance by each village community.





産業まつり

毎年2月に開かれる産業まつりは、村の産業振興を目的に、農畜産物、水産物、加工品、お土産品、観光産業などが一堂に会し、特産品を展示・即売し、村内外に広く紹介しています。特に恩納村で栽培が盛んな観葉植物や野菜・果樹、水産加工品などは人気が高く、多くの人で賑わいます。



INDUSTRY FESTIVAL

The Industry Festival is held every February in the area around the Onna Village Community Center in order to exhibit and sell agricultural and livestock products, marine products, processed items, souvenirs and tourism-related products to promote the village's industries. The festival is attended by many people, with locally grown ornamental plants, vegetables, fruit and processed seafood being the most popular items.

うんなまつり

「うんなまつり」は恩納村の夏の一大イベントで、村民をはじめ、村内の各団体、事業所が団結してまつりを盛り上げます。魚のつかみ獲り大会など、村民参加型のプログラムをはじめ、県内外有名アーティストのコンサートや村内芸能の公演、地域振興鍋、福引抽選会、花火大会など、多彩な催しに村内外から多くの人が集まります。

Unna Festival

The Unna Festival is one of Onna Village's largest summer events and is attended by residents as well as local organizations and businesses. The festival includes many hands-on programs, such as a children's karaoke contest and hand-fishing competition. The festival's concerts by musicians from Okinawa Prefecture and other parts of Japan, local performance arts shows, community pot, prize drawings and a fireworks display also attract a large number of visitors every year.

恩納村の主なイベント

- | | |
|-------|-----------------|
| 3月 | ムーンビーチ沖縄全島やちむん市 |
| 旧5月4日 | 前兼久ハーリー |
| 7月 | うんなまつり |
| 9月 | 豊年祭 |
| 11月 | 恩納村文化祭 |
| 12月 | 子どもフェスティバル |
| 2月 | 産業まつり 琉歌大賞 |



泡盛

恩納村唯一の酒造所が、嘉真良井(カマラガー)から湧き出る清水を仕込み水に使い、先人から継承した酒造りに対する思いと伝統手法を頑なに守り、濃厚な旨みと甘みを醸し出す。地元の人々に親しまれ、愛されるお酒です。

琉球泡盛



海ぶどう

ぶどうのように小さな実がついている恩納村の海で採れる緑色の海藻。口に運ぶと磯の香りが広がり、プチプチとした食感が楽しめます。



モズク

恩納の海で採れる「モズク」はミネラルがたっぷり含まれている自然食品。食べ方は色々で、酢の物や天ぷら、スープや味噌汁の具としても美味しい。

海産物

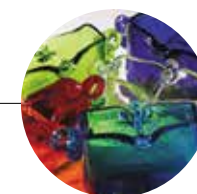


アーサ

「あおさ」という海藻の一つ。海岸の岩にへばりついており、これをひとつひとつ採って水洗いしたものを天日に干して乾燥させて使います。水で戻して味噌汁の具に使ったり、澄まし汁仕立てで美味しくいただけます。

自然を活かし、文化を活かす。

The Bounty of Nature and a Rich Cultural Heritage



SPECIALTY PRODUCTS 逸村産品

恩納村では、豊かな自然環境や独自の風土を活かした、ガラス、泡盛、陶芸などの伝統工芸や熱帯果樹などの農産物、さらにモズクやウニなどの海産物を加工して、これらを村産品として販売しています。

農産物



アテモヤ



パッションフルーツ

ビタミンとミネラルがバランス良く含まれている熱帯果実。脂肪の蓄積を防ぎ美しい肌を保つなど特に女性に人気。また筋肉機能の調整作用や、成長促進の効果が期待されていて、今後注目されるフルーツのひとつです。

陶芸品



ガラス工芸



Specialty Products

Onna Village is known for its traditional crafts, including glass art, awamori and pottery that take full advantage of its natural environment and unique culture. The village also has a thriving agricultural industry that grows passion fruit, atemoya, flowers and ornamental plants, and various vegetables. The village also is a processing hub for mozuku seaweed, sea urchin and other marine products.

我した恩納村 青緑清らさ 肝心据えて 文化（花）ゆ咲かさ



恩納村の概要

恩納村は沖縄本島のほぼ中央部西海岸側に位置し、北に名護市、東に宜野座村、金武町、うるま市石川地区(旧石川市)、南に沖縄市、読谷村の各市町村と隣接しています。面積は50.83 km²で、南北に27.4km、東西に4.2kmと細長い形をしており、うるま市石川地区(旧石川市)と隣接する部分は沖縄本島の東西にもっとも狭い地域にあたります。山間地の喜瀬武原(きせんばる)を除いて、国道58号および県道6号線沿いの海岸線に14の字が点在しています。村の西側は東シナ海に面し、東側は恩納岳を中心に、北から漢那岳、熱田(あった)岳、ブート岳、屋嘉(やか)岳、石川岳、読谷岳などの山々が連なり、さらにこれらの山々を源とする小さな川が40近くあり、山や川、海などの変化に富んだ豊かな自然が息づいています。

戦前、戦後を通じて半農半漁の静かな村として時を刻んできた恩納村は、本土復帰後開催された国際海洋博覧会を機に

大きく変貌しました。サンゴ礁の広がる美しい海岸線が観光資源として注目され、大型のリゾートホテルが競って並び建つようになったのです。

多くの村民が生業としてきた農業・漁業も、時代の流れに伴い大きな様変わりを見せています。農業ではこれまでのサトウキビ栽培に加えて、ランやキクなどの花卉、熱帯果樹、野菜類など多様な作物が栽培されています。漁業も「獲る漁業」だけに頼らず、もずくや海ぶどうなどの養殖漁業が年々成果を上げています。

平成24年9月には沖縄科学技術大学院大学が開学し、国際的な学問の場として海外からも注目されています。今、恩納村では観光と結びついた工芸産業、商業、サービス業などが芽生えてきており、新しい時代へ向けての村づくりが着々とすすんでいます。

About Onna Village

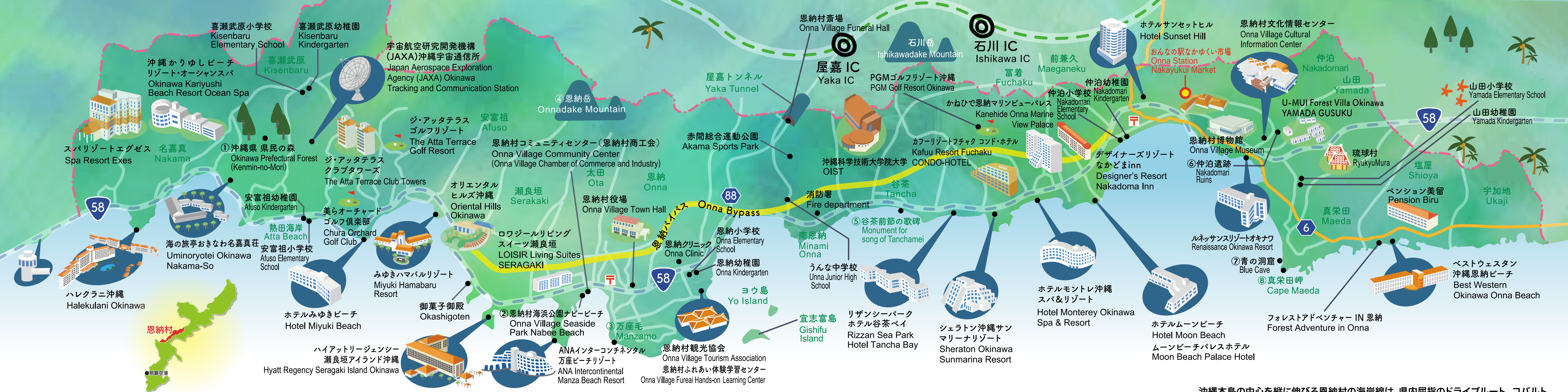
Onna Village is located at the west coast of the central region of the main island of Okinawa. To the north is Nago City, to the east is Ginoza Village, Kin Town, and the Ishikawa District of Uruma City (formerly Ishikawa City), and to the south is Okinawa City and Yomitan Village. Onna Village has a long, narrow shape extending 27.4 km north to south and just 4.2 km east to west, encompassing a land area of 50.83km². The area of the village that borders the Ishikawa District of Uruma City (formerly Ishikawa City) is the narrowest part of the main island of Okinawa in terms of east to west distance. Excluding the mountainous area of Kisenbaru, the village has 14 individual communities located on the coast along National Route 58 and Prefectural Route 6. The west side of the village faces the East China Sea and the east side Mount Onna, while to the north is a series of small mountains that include Mount Kanna, Mount Atta, Mount Buto, Mount Yaka, Mount Ishikawa, and Mount Yomitan. There are also close to 40 small rivers originating from these mountains that flow through the area, which provides Onna Village with an abundant and ever-changing natural setting that includes mountains, rivers and ocean.

Onna Village was a small farming and fishing village before and after World War II, but it began greatly to transform itself after Ocean Expo '75 was held on the main island of Okinawa following its reversion to Japan.

Onna Village's beautiful shoreline, coral reefs and beaches received a great deal of attention as tourism resources and soon a number of large resort hotels were constructed in the village.

Onna Village's main agricultural and fishing industries, where most of its residents have worked, too, have undergone a great deal of change over the years. As for agriculture, in addition to its mainstay crop of sugar cane, the village now grows a wide range of other crops that include flowers and ornamental plants, such as orchids and chrysanthemum, tropical fruits, and vegetables. The village's fishing industry has also expanded from fishing to include such successful aquaculture ventures as mozuku seaweed and sea grapes.

In September 2012, the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University opened in Onna Village and has received international acclaim as a hub for multidisciplinary research. Today, Onna Village is witnessing the birth of new industries linked to tourism, including arts and crafts, commerce and services, which is steadily bringing about a new chapter in the village's approach to community development.



輝く自然 薫る文化息づく営み —— 恩納村は「彩り豊かな魅力を発信

する村づくり」を目指しています。——

沖縄本島の中心を縦に伸びる恩納村の海岸線は、県内屈指のドライブルート。コバルトブルーの空と海、そして茜色に輝くサンセットがこの村のハイライトです。そして、かつての旅人達の足跡や人情味あふれる村民たちが、恩納村の魅力に素敵なスパイスを加えています。



①県民の森
熱田山の丘陵地帯にある県民の森では、181ヘクタールという広大な自然林の中でテニスや草スキーなどのスポーツやキャンプが楽しめます。



②恩納村海浜公園ナビービーチ
恩納村漁港の隣に整備したビーチです。シャワー・トイレなども完備され、バーベキューも楽しめます。万座毛沖に沈むサンセットは絶景です!!



③万座毛
万座毛は「万人も座する草原」(毛とは草原のこと)琉球王朝時代、尚敬王が「万人を座するに足る」と賞賛したことが名の由来と言われています。



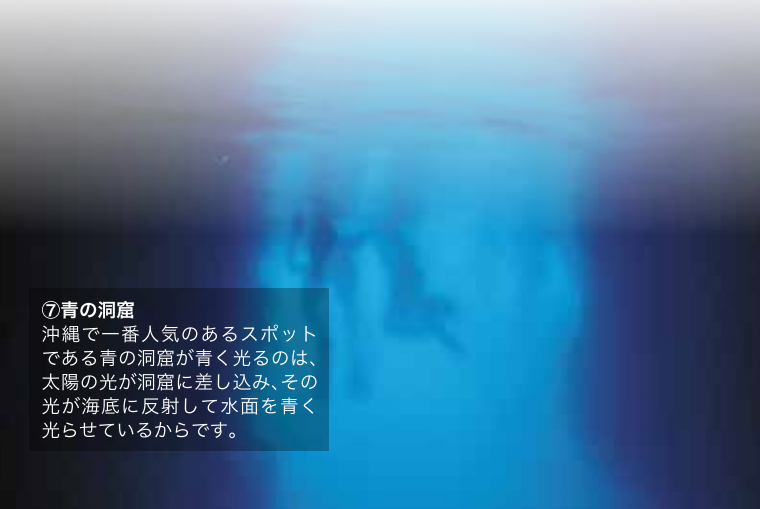
④恩納岳
沖縄一の美しさと言われている恩納岳。昔から有名なこの山は、中国や薩摩の人達も知っていました。天気の良い時は、首里からも遠望できます。



⑤谷茶前節の歌碑
恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前(たんちゃめー)節」の発祥となった「谷茶前の浜」を一望できる公園となっており、谷茶前節の曲と共にロケーションを堪能できます。



⑥仲泊遺跡
遺跡の勉強と運動を兼ねて石畳を登って行くと素晴らしい景色が待っています。石畳道は、小字比屋根原の琉球石灰岩丘陵を越えるために敷設された旧道です。



⑦青の洞窟
沖縄で一番人気のあるスポットである青の洞窟が青く光るのは、太陽の光が洞窟に差し込み、その光が海底に反射して水面を青く光らせているからです。

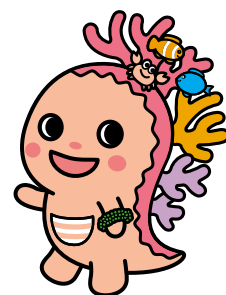


⑧真栄田岬
ダイビングの人気スポットでもある真栄田岬は東シナ海を一望でき、眼下に広がる海は透明度が高く週末になるとダイバー達で賑わっています。



サンゴの村宣言

Onna Village in Okinawa



名前: ^{さんな} Sunna ちゃん

恩納村は、風光明媚な自然環境に恵まれ、穏やかな暮らしとともに国内有数の観光リゾート地として成長してきました。

健全で豊かな自然環境の保全是、村民が健康で文化的な生活を営む上でも重要であり、この恵まれた自然環境を次世代に引き継いでいくことは、私たちの責務でもあります。

私たちは、改めて自然の恩恵なしでは生きていけないことを認識するとともに、自らの生活様式や社会経済活動のあり方を見つめ直し、行政・村民・事業者が一体となった、環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、自然環境に優しい地域づくりを目指すため、ここに恩納村を「サンゴの村」とすることを宣言します。



恩納村は、村民一人一人の自然環境に対する意識の向上を図り、本村の豊かな自然環境の保全と育成を行い、地域資源を生かした恩納ブランドの確立に向け、2018年7月に「サンゴの村」を宣言しました。

世界一サンゴにやさしい村づくりを目指して、関係団体等と連携し、各種プロジェクトに取り組んでいます。

“Village of Coral” Declaration

In July 2018, Onna Village proclaimed itself a “Village of Coral,” aiming at establishing a local Onna brand that makes the best use of local resources through raising the awareness of each and every villager about the natural environment and preserving and nurturing the village’s rich natural environment. Onna Village intends to work on various projects in collaboration with related organizations, aiming at creating the most coral-friendly village in the world.

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ

SDGs 未来都市

恩納村は、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた優れた取り組みを行う都市として、「令和元年度 SDGs未来都市」に選定されました。

SDGsの取り組みにより、世界一サンゴにやさしい村づくりを目指して、行政・村民・事業者が一体となった環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて取り組んでいます。

SDGs Future City

Onna Village was selected in FY2019 as an “SDGs Future City” for its superior approach toward the achievement of the Sustainable Development Goals (SDGs). The municipal government, villagers, and business operators are working together toward creating the most coral-friendly village in the world and a sustainable society with a low environmental burden.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





観光業

滞在交流型リゾートをめざして

恩納村は、風光明媚な海岸線や豊かな自然環境に恵まれた地域条件を背景に、大型ホテルの立地が進み、ビーチリゾートとしては県内でもっとも大きく、沖縄県における観光リゾート地としての地位を確立しています。

近年、修学旅行を中心とした三線や沖縄料理、伝統芸能、海ぶどうの収穫、サンゴ保全活動等、農林水産地域という恩納村の地域条件や恩納村にしかない歴史、文化資源を生かした滞在交流が推進されています。

また、スポーツコンベンション受入推進により、韓国プロ野球キャンプ時の野球教室など地域交流の活発化やリゾー

トウエディング推進による地域資源を活用した特産品開発等の支援を行っています。

恩納村では今後、景観形成を主軸とした一般社団法人恩納村観光協会が実施している沿道等除草対策事業の支援をはじめ、恩納村の人材、歴史・文化、地場産業の活用と連携、高齢社会に対応するサービス機能の拡充などにより「風と光が流れ 時を忘れる村 恩納村」を観光ビジョンとして、誰もが訪れたいような持続可能な観光リゾート地の形成をめざして、観光・交流の振興を図っていきます。

Onna Village is known as one of the largest tourist resort areas in Okinawa Prefecture. Over the years, a number of major hotels have opened there doors here, drawn by the scenic beauty of the coastline and abundant natural surroundings.

In recent years, Onna Village has seen an increase in services to meet the new face of tourism, which includes extended stays, green tourism and wellness tourism, each of which takes advantage of Onna Village's unique history, culture and location as a community of agriculture, forestry and fisheries.

Moving forward, Onna Village will promote tourism and interaction in only ways it can by expanding its environmental protection and scenic development efforts, utilizing human resources, history, culture and local industries, and enhancing services for an aging society.

Tourism Industry



ハレクラニ沖縄



ジ・アットテラスクラブタワーズ



ルネッサンスリゾートオキナワ



ベストウェスタン沖縄恩納ビーチ



リザンシーパークホテル谷茶ベイ



オリエンタルヒルズ沖縄



シェラトン沖縄サンマリーナリゾート



沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ



みゆきハマバルリゾート



ホテルムーンビーチ



ホテルサンセットヒル



沖縄スバリゾートエグゼス



ホテルモントレ沖縄 スパ&リゾート



ANAインターコンチネンタル
万座ビーチリゾート



ハイアットリージェンシー
瀬良垣アイランド 沖縄



ロワジュール リビングスイーツ 瀬良垣



カフー リゾート フチャク コンド・ホテル



ホテルみゆきビーチ

琉球王国時代に活躍した女流歌人・
恩納ナビーのような熱い情熱をもって、
恩納村を広く全国へPRします。

第4代目 ミス恩納ナビー

仲嶺 夕理彩さん（写真左） 石川 らんさん（写真右）





商工・製造業の振興



恩納サンセット海道

恩納村の国道58号沿いには集落や漁港、大型リゾートホテルなどが立地し、地域の暮らしや産業・経済、文化の重要な骨組みを構成していますが、近年、恩納南バイパス、恩納バイパスの開通によって、交通渋滞は解消されましたが、一方で国道沿いの商業施設の売上が減少する状況になっています。

恩納村では、「恩納サンセット海道」とネーミングして活性化に取り組んでいる商工会と連携し、国道58号の海を望む良好な景観を活かし、沿道景観の整備により人々が誘われるような魅力ある沿道街づくりを進めます。



新たな拠点づくり

恩納村の商業店舗は国道58号沿いに立地し、中心地と呼べるまとまった商業地域は少なく、地元の需要に応じた小規模な店舗がほとんどですが、近年、国道58号沿いのリゾートホテル近傍に飲食店や工芸・土産物品店、リゾート服飾店、海洋レクリエーションサービス店、コンビニエンスストアなど、観光客向けの商業・サービス施設の立地が進み、前兼久においては一定の集積がみられるとともに、通過型売買需要に

応えて「おんなの駅 なかゆくい市場」は活況を呈しています。

このような動きのなかで、恩納村では地元の生活需要に対応する商工業サービスの充実と、催し物や店舗の案内など大型ホテルとの連携や総合的ネット情報の発信による商工業の振興をはかるとともに、沖縄科学技術大学院大学、「おんなの駅 なかゆくい市場」周辺での観光・交流・商業拠点づくりを進めています。

In recent years, a number of retail and service facilities for tourists are opening in Onna Village along National Route 58 near the resort hotel area, including restaurants, arts and crafts stores, souvenir shops, resort apparel stores, marine recreation service providers and convenience stores.

Given this trend, Onna Village is working to expand commercial and industrial services for local living and promoting commerce and industry through partnerships with major hotels, which includes events and store marketing, and sharing a wide range of information online. Onna Village is also developing hubs for tourism, exchange and business in the area around OIST and Onna no Eki Nakayukui Ichiba.

Onna Sunset Coast Road

The opening of the Onna Minami and Onna bypasses has helped to alleviate traffic congestion in Onna Village, but it has also reduced business at retail stores located along National Route 58.

Onna Village has given National Route 58 the nickname Onna Sunset Coast Road and is working with the local commerce and industry association to revitalize the area by leveraging and developing the beautiful seascapes along the route to draw in more visitors and recapture the road's past glory.



Promotion of Commerce, Industry and Manufacturing

農業の振興

ブランド化をめざして



農業は風土や暮らしと結びついた産業です。恩納村では小菊を主力とする花卉類、パッションフルーツなど果樹類の実績を踏まえて、近代化施設の整備や生産技術の向上、高齢化に対処した担い手を育てるとともに、主力品目の高品質生産と産地形成、「恩納ブランド」の確立をめざした農業を振興しています。

また、村内では農業従事者が高齢化していることから、「おんなの駅 なかゆくい市場」や一部ホテルへの直売など、高齢者や女性が参加できる地産地

消による農業の活性化を図るとともに、観光リゾート地という立地特性を活かした体験農業の提供や、周遊地としての農業環境の整備など、多面的な農業振興をめざしています。



Agriculture is an industry that is closely linked with local living and local climate. Based on its track record in growing flowers and ornamental plants, and especially chrysanthemums, and tropical fruits, such as passion fruit, Onna Village is moving to develop modern farming facilities, improve production technologies and develop the future leaders of agriculture given the graying nature of local farmers. Onna Village is attempting to establish its own unique Onna Brand agricultural produce by ensuring mainstay products are of the utmost quality and by developing more land for farming.

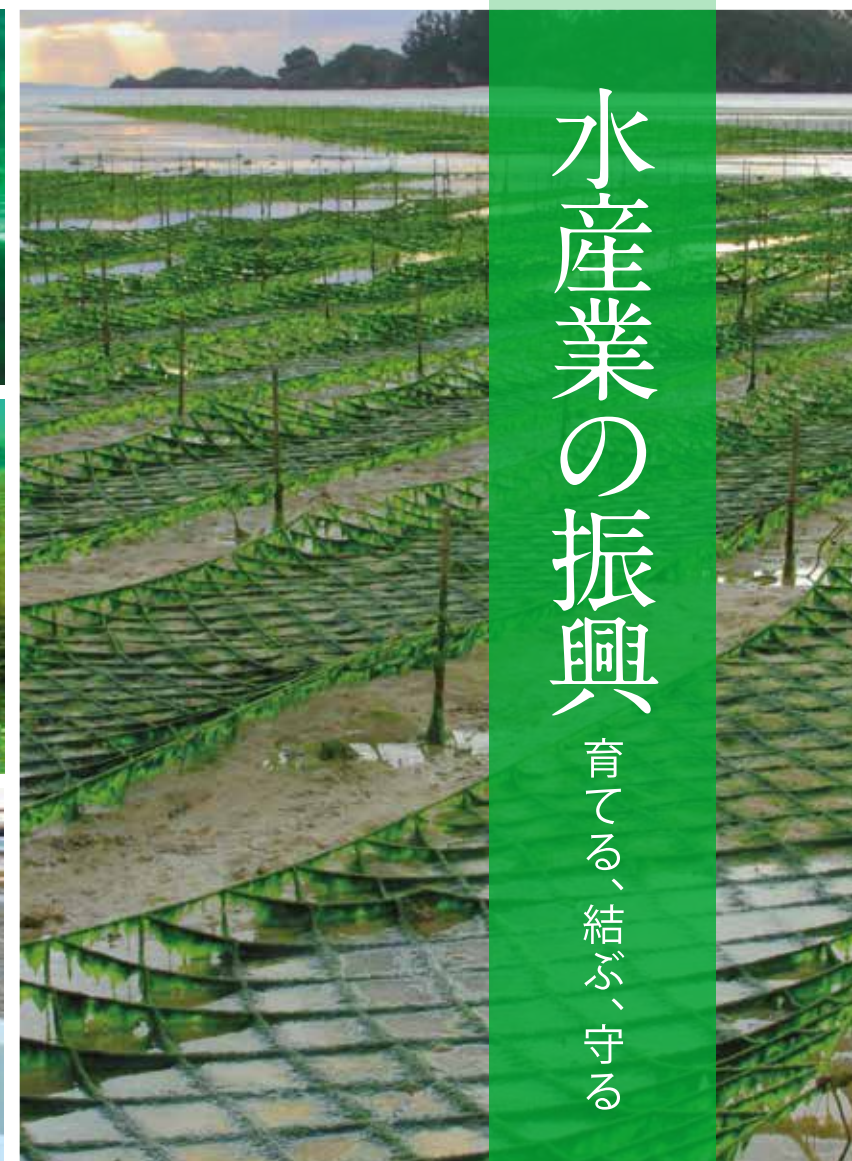
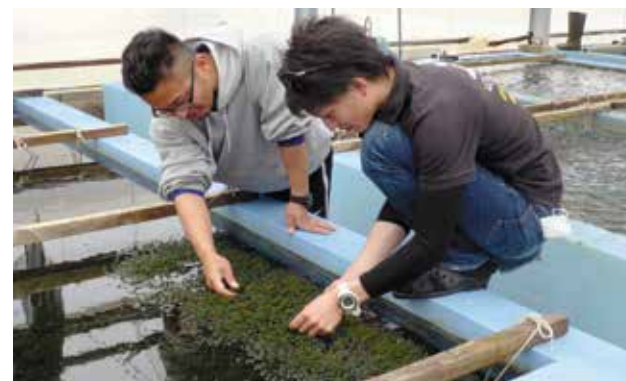
Because of its graying population of farmers, Onna Village will seek to promote agriculture based on local production for local consumption and led by women and senior citizens. Onna Village has a broad range of agricultural promotion plans that include hands-on farming experiences for visitors and the further development of area farms into travel destinations.



Agriculture Promotion

水産業の振興

育てる、結ぶ、守る



恩納村の漁業はサンゴ礁海域を主な漁場としており、モズクなどの海藻養殖を主力として発展し、第一次産業の一翼を担っています。特にモズク、海ぶどうについてはブランド化に力を入れるとともに、資源管理型漁業の安定継続をめざしています。

また、漁協による販売、加工事業を

はじめ、漁業者、加工業者、消費者と協力した新しい物産開発、商工観光と結んだ体験漁業など、他分野と複合した取り組みを強化しています。さらにサンゴ養殖事業などによる生態系の保全、海洋レジャー活動との共存など、海域環境の保全と一体となった「里海づくり」にも取り組んでいます。

The fishing grounds of Onna Village's fishing industry are mainly located in the waters around coral reefs, but mozuku and other forms of seaweed aquaculture have become a major force behind this primary industry. Efforts are being made to cultivate a brand of mozuku and sea grapes, but the ultimate goal of Onna Village is a stable and consistent fisheries industry that manages marine resources responsibly.

Onna Village is also bolstering sales to fisheries cooperatives and processors and implementing joint initiatives with other sectors of the economy, such as the development of new local products and fishing excursion trips. Onna Village also focuses on building a sound ocean by working together to help protect local waters, safeguarding ecosystems through coral reef growing and achieving co-existence with marine leisure activities.



Fisheries Promotion

教育・文化

村づくりは人づくり



幼児教育

恩納村では、幼稚園と保育所がそれぞれの良さを活かしながら連携して幼児教育の充実を図るとともに、幼稚園教育と学校教育を円滑につなげるため小学校との連携にも取り組んでいます。

特別な支援を要する園児の円滑な教育については、支援員を配置するなど園児へのきめ細かい支援を行っています。

多様な保護者ニーズに対しては、預かり保育の拡充や保育料及び給食費の無償化を実施し、保護者への経済的支援を行っています。

Early Childhood Education

Onna Village's kindergartens and public daycare facilities work closely together to enhance the quality of preschool education while also collaborating with elementary schools to facilitate a smooth transition from preschool to school education.

Onna Village assigns special education aids to assist children with disabilities who attend kindergarten or daycare.

Onna Village also offers public daycare services outside normal school hours to help meet the needs of local parents.

学校教育

学校では、支援を要する児童生徒への特別支援教育支援員の配置や児童生徒の学習レベルにあった学習指導の工夫、改善、教職員の資質向上を図り、子どもたちの学力向上に努めています。

子どもたちが生涯を通じ健康な生活を送るための基礎を培うための食育については、継続的に「食育」に関する指導の充実や地元産の食材の活用など地産地消の推進を行っています。

保護者への経済的支援においては、これまでの就学支援等を継続し、さらには給食費無償化を段階的に行い、就学期の子育て支援に努めています。

教育環境については、校舎、体育館及びプールの改修やICT機器整備の拡充を図り、多様な子どもたちへのきめ細かい教育環境の整備を行っています。

中学校においては、令和2年4月から村内5中学校を統合した「恩納村立うんな中学校」が開校し、学習活動における切磋琢磨を基本とする人材育成に努め、大きな期待と新たな教育の歴史がスタートしました。

School Education

Onna Village strives to improve the academic skills of children enrolled at its schools. These efforts include assigning learning aids, improving and innovating school instruction so that it matches students' learning levels, and taking steps to improve the quality of its teachers.

As for dietary education, in addition to school lunch time, students are also taught about food and diet during physical education, home economics, and special activities.

Onna Village is committed to managing its public educational facilities carefully, remodeling swimming pools, and updating IT equipment.

Onna Village has been continually debating the integration of junior high school education after it set up the Education Promotion Council in December 2010.

生涯学習・スポーツの振興

恩納村では村民が生涯にわたって生き甲斐をもって充実した生活を送れるよう、目的や世代、性別、地域別などに応じた多様な学びやスポーツの機会の提供を通して、地域の実情に応じた各種団体の育成を図っています。また、沖縄科学技術大学院大学などの学術機関との連携を図りながら、英語をはじめ国際的語学力を身につけた幅広い人材育成に取り組んでいます。

さらに、文化情報センターや赤間総合運動公園の周辺などを整備して生涯学習拠点施設の充実を図り、恩納村らしさを活かした「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりを進めています。

Lifelong Learning and Sports Promotion

Onna Village provides a host of lifelong learning and sports activities through the nurturing of various organizations in order to help its residents live a more fulfilling life.

Onna Village partners with academic institutions to help develop a wide range of human resources that can speak international languages including English.

Onna Village has also developed an environment where any of its residents can learn anywhere at any time by using its Information Center and the area around Akama Sports Park as hubs for lifelong learning facilities.

文化

恩納村には「山田城跡」「国頭方西海道」「万座毛」「恩納ナビ」など、固有の歴史・文化があります。国指定史跡となった「山田城跡」の復元整備をはじめとして、沖縄口、ハーリー、豊年祭などの歴史・文化資源を継承・活用し、身近に触れる機会の提供に取り組むなど、地域学習や観光との連携を深めることで、文化の振興を図るとともに、恩納村を誇りとする人づくりを進めています。

Culture

Onna Village has a unique history and culture, represented by the ruins of Yamada Castle, Kunigamiho Seikaido, Manzamo, and Unna Nabi. Onna Village is committed to passing on, utilizing and providing opportunities for residents to experience firsthand its historical and cultural resources, which include Okinawan language, dragon boat races, the Harvest Festival, as well as the restoration of the Yamada Castle ruins, a nationally-designated historical site. By deepening partnerships between local learning and tourism facilities, Onna Village hopes to promote its culture and foster a sense of pride in the community.



Education and Culture



健康・医療・福祉

健康、医療、福祉
イキイキ、安心



保健・医療

恩納村では健康増進計画「第2次健康おんな21」に基づき、村民一人一人が自分自身や家族、地域の人々などの健康づくりに関心を持ち、健康で明るく安心に満ちた生活を送れる村づくりを推進し健康づくりにつながる各種事業やイベントを通して村民の健康増進を図っています。

成人保健事業では各種健診(検診)により疾病の早期発見及び早期治療を図り、保健指導を実施することで、疾病の予防や生活習慣病予防に努めています。

母子保健事業では安心安全な出産・育児期の親子の健康増進と育児不安の解消、疾病等の早期発見に向けて、妊婦健康診査・産婦健康診査、乳幼児健康診査や訪問指導、健康相談、各種教室等の事業を実施しております。

Healthcare / Medical Care

Based on the health promotion plan "Healthy Onna 21 (2nd phase)," Onna Village intends to promote the health of the villagers through various projects and events that will lead to good health by creating a village where each and every resident will develop an interest in promoting his or her own health and the health of their families, the people in the local community, and others as well as by creating a village where the residents can lead a healthy, bright, and secure daily life.

With regard to adult healthcare services, Onna Village strives to prevent illnesses and prevent lifestyle-related diseases by detecting and treating diseases at an early stage through medical checkups (medical examinations) and by carrying out health guidance.

With regard to maternal and child healthcare services, Onna Village provides such services as medical checkups for pregnant and parturient women, medical checkups for infants and toddlers, home guidance, health counseling, and various classes for the promotion of the health of parents and children during childbirth and childcare, elimination of childcare anxiety, and early detection of illnesses, etc.

地域・障がい福祉

社会福祉協議会、民生・児童委員及び各ボランティア団体や各推進協議会と連携して、住民と行政の協働により地域でたすけあい安心して暮らせる村づくりのため、地域における相互扶助意識を啓発、地域福祉体制の充実を図ってまいります。

生活困窮自立支援相談事業や障がい者(児)相談事業等を行い村民の社会参加及び自立に向けた支援を推進してまいります。

Community Welfare Services and Welfare Services for Persons with Disabilities

In collaboration with the Council of Social Welfare, commissioned welfare volunteers and commissioned child welfare volunteers, as well as various volunteer groups and promotion councils, Onna Village will create a village where people can help each other and live with a peace of mind through the cooperation of residents and government, and enhance the community welfare system by raising awareness of mutual aid in the local community. We will also promote support toward the villagers' participation in society and their becoming self-reliant by carrying out consultation services for supporting the independence of the poor and needy and consultation services for persons (children) with disabilities.



児童福祉・子育て支援

恩納村では保育ニーズへの対応、子育て支援サービスの充実や各種助成制度などの実施により、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めています。

また、ひとり親世帯や養育支援を必要とする家庭への適切な支援を進め、すべての子どもが健やかに育つ環境づくりに取り組んでいます。

Child Welfare / Childcare Support

By responding to childcare needs, enhancing childcare support services, and implementing various subsidy programs, Onna Village has been promoting the creation of an environment where mothers can safely give birth and parents can safely raise their children.

We are working to create an environment where all children can grow up healthily by promoting appropriate support for single-parent households and families that require parenting support.

Health, Medical Care and Welfare

環境

暮らしを支える礎



自然環境・ 景観の保全・育成

恩納村では海と陸を結ぶ生態系に配慮した近自然工法などによる海岸、河川の環境整備に取り組むとともに、赤土流出防止策などと併せて、自然環境の保全に向けた総合的、統一的な整備を進めています。

また、恩納村が有する自然資源・歴史資源を活かした景観の保全・育成を図ることで、うるおいのある村づくりに取り組んでいます。

Protecting and Nurturing the Natural Environment and Scenery

Onna Village strives to develop and manage its coastline and rivers using natural means that are considerate of its interconnected ecosystem on land and in the sea. Onna Village carries out comprehensive and integrated environmental protection efforts that include the prevention of red soil runoff.

土地利用の調和

恩納村では用途用域の果たしてきた役割の周知を図ることで住民の理解をより一層深めるとともに、各種法制度や村独自の条例に基づいた土地利用の調和を図り、自然環境の保全や均衡ある地域の発展をめざしています。

Responsible Land Usage

Onna Village deepens resident understanding of its land use practices by raising awareness about the traditional roles of its land zoning. Onna Village uses land responsibly based on its various laws and its own unique ordinances to achieve harmony between community development and environmental protection.

生活環境の充実

恩納村では道路などの社会資本整備は大きく進みました。村道の維持管理、生活排水処理施設整備の推進、安定的な水供給、身近な公園の整備、村営住宅の適切な維持管理など、きめ細かな社会資本の充実を図ることで、より良い住環境づくりに取り組んでいます。

Enriching Living Environment

Onna Village strives to provide excellent social capital through responsible road maintenance, upkeep of water treatment facilities, stable water supply, community parks, and public housing. These efforts enable Onna Village to build a better living environment for its residents.



衛生環境の充実

恩納村ではゴミ分別の徹底や再資源化の促進、更なるゴミ減量化などにより、資源循環型社会の構築に取り組んでいます。また、適切な斎場の管理運営や墓地整備の促進を図るとともに、不法投棄対策やハブ対策の強化に取り組み、快適で衛生的な生活環境づくりをめざしています。

Excellent Public Hygiene

Onna Village is helping to build a recycling-oriented society by thoroughly sorting waste, promoting recycling, and helping further to reduce garbage. Onna Village also promotes the responsible upkeep of funeral parlors and development of cemeteries, while also cracking down on illegal dumping and protecting residents from pit vipers.



The Environment



防災

もしもに備える



恩納村では村民の生命、財産を災害などから守るため、より効果的な消防・救急体制の確立を進めるとともに救命救急技術の向上を図っています。

さらに、村民協働による地域防災体制および防犯体制を強化し、交通事故の発生抑制を図ることで、安心・安全対策の拡充を進めています。

恩納村のほとんどの集落は海辺に面しているため、日頃から津波などの災害に備えることが重要です。津波の高さや土砂崩れ箇所の再点検、安全な避難場所の確保などによる地域防災計



画の見直しをはじめ、自主防災組織の設置による防災訓練などにより、災害に強い村づくりに取り組んでいます。

Onna Village is working to establish an effective fire fighting and emergency response system while also improving its critical care technologies.

Onna Village is also strengthening its civic community disaster preparedness system and crime prevention system as well as taking steps to reduce the number of traffic accidents.

Nearly all of Onna Village's communities are located along the coast. Therefore, Onna Village has revised its community disaster preparedness plan by re-inspecting areas of concern in terms of tsunami and landslides and securing safe evacuation sites for residents. Onna Village has also taken steps to strengthen its ability to deal with disasters by holding disaster drills through voluntary disaster preparedness organizations.

Disaster Preparedness



交流事業

ひろがる友好親善の輪



恩納村では、岡山県吉備中央町(旧加茂川町)・北海道石狩市・長野県川上村と教育分野やお互いのイベントを中心に交流を深めています。

岡山県吉備中央町(旧加茂川町)とは、岡山空港開港を機に、沖縄県への花きのフライト出荷が縁となり交流がスタートし、平成10年10月31日には友好交流縁組締結をし、平成16年吉備中央町へ合併後も交流が続いています。

北海道石狩市とは、国体で同じくソフトボール会場となったことが縁で、中

学生相互の交流が始まり、平成25年10月21日に友好市町村都市提携を結びました。また、長野県川上村とは、川上村への農業に関する村からの視察を機に、30年以上にわたり、草の根の交流が続いてきたことにより、平成29年2月3日に友好市町村都市提携を結びました。今後、両市村とは、教育・産業・経済・文化の交流と友好親善を深めるとともに、同時に交わした災害時における相互応援等に関する協定によって、大きな災害が発生した際の応急対策に協同で取り組みます。

Onna Village concluded a friendship agreement with Kibi Chuo Town (formerly Kamogawa Town) in Okayama Prefecture on October 31, 1998. This agreement has been maintained even after Kamogawa Town was merged into Kibi Chuo Town in 2004. The relationship began when the Okinawa Airport first opened and flowers were shipped to Okinawa Prefecture.

Onna Village concluded a friendship agreement with Ishikari City in Hokkaido Prefecture on October 21, 2013. The relationship began with the mutual exchange of junior high school students after both cities' teams played on the safe softball field during the National Athletic Meet. Moving forward, both cities will seek to deepen friendship and foster exchange in the fields of education, industry, business and culture. The two municipalities also concluded a mutual disaster assistance agreement, under which they will work jointly to develop emergency response measures for major disasters.

Exchange Programs

議会



未来を見通す力

主役は一人ひとりの村民。
いつでも村民の声を活かす村づくりにつとめています。

Aspiring to be a village council by the people
that leverages resident feedback to help build the community



議長 又吉 薫



副議長 又吉 貢



恩納村議会は選挙によって選出された16人の議員で構成され、年4回の定例議会(3月、6月、9月、12月)や臨時議会を通じて予算や決算、条例の審議や陳情など、さまざまな審議を行っています。村議会には「総務財政文教委員会」「経済建設民生委員会」「基地問題対策委員会」「議会広報委員会」の4つの常任委員会がおかれ、それぞれ担当する分野の委員会を中心に提案される議案を専門的に審査し、村政の健全な運営と村の発展のために活発な議会活動を行っています。

The Onna Village Council, comprised of 16 elected members, convenes four times per year (once each in March, June, September and December) as well as for other extraordinary occasions to carry out various deliberations, including on the village's finances and budgets as well as on petitions and ordinances. The Village Council is also comprised of four permanent committees: the General Affairs, Finance and Education Committee, the Business, Construction and Civic Committee, the U.S. Base Countermeasure Committee and the Village Council Public Relations Committee. These committees carry out active discussions on the sound governmental management and development of the village.

Village Council

行政



つながる、広がる、
村民との絆

みんなでつくる恩納村。
村民に開かれた行政で21世紀を歩んでいきます。

An open government administration taking new steps in the 21st century
to ensure people stand at the heart of Onna Village



村長 長浜 善巳



副村長 外間 毅



教育長 當山 欽也

行財政運営

恩納村は人口約1万人の小さな財政規模ですが、地域住民の絆の強さを生かした住民と行政の役割分担と協働、日進月歩する情報技術を活用した行政運営により、規模は小さいながらも最も進んだ村づくりを進めています。

Financial and Administrative Operations

Onna Village is a small municipality with a population of just 10,000 people. Nevertheless, Onna Village is striving to implement the latest, most cutting edge community development initiatives, despite this small size, by splitting administrative roles in a way that leverages the strong relationship the government enjoys with its residents and by taking an approach to public administration that wisely utilizes fast-evolving information technologies.

広域行政の推進

交通・通信の発達により、村域を越えて広がる生活圈、また農村地域とはいえ情報化や都市化にともなうニーズなどに応え、村民に十分な行政サービスを提供するため、消防・救急、医療・福祉などの広域行政を推進しています。

Promoting a Regional Approach to Public Administration

Onna Village is promoting a regional approach to public administration, which includes fire fighting, emergency medical care, healthcare and welfare, in order to provide sufficient government services to residents and respond to the needs of computerization and urbanization using advancements in transportation and telecommunication, despite Onna Village's rural character and the increasingly borderless type of lifestyles enjoyed by residents.

Government

字紹介

笑顔でつながるコミュニティ

Community Introduction

住民自治

地域づくりと住民自治の主体となっている恩納村の集落では、これまで培ってきた伝統行事、芸能文化を継承するとともに、計画に基づく地域づくり、子育てや老人福祉などの相互扶助、新規転入者の円滑な定住促進など、それぞれの地域実情に応じた住民活動、住民自治の充実に取り組んでいます。

名嘉真

恩納村の最北端で、東は名護市、宜野座村、南は金武町に接しており、国道58号沿いに、名嘉真、伊武部の集落があります。集落の周囲は小高い山々に囲まれ、その傾斜地ではミカンなどが栽培されています。伊武部にはインプビーチ、かりゆしビーチホテルがあり、夏場には観光客で賑わいます。

喜瀬武原

恩納村で唯一海に接していない集落です。近年は花卉栽培が盛んに行われ、この地域での花卉栽培の成功が沖縄県下の花卉ブームをもたらしたといわれています。かつては恩納岳を目標にした米軍の実弾射撃訓練が生活道路である県道104号線を封鎖して行われていました。

安富祖

安富祖、熱田の集落からなり、稲作が盛んなところ。県道が開通しない1914年までは山原船の停泊地として賑わっていました。女人禁制の拝所・坊主洞窟や熱田貝塚などの史跡のほか、沖縄宇宙通信所、ユニマット・美らオーチャードや沖縄ゴルフ倶楽部、ジ・アッタテラス・ゴルフリゾートなどのゴルフ場があります。

瀬良垣

国道58号と平行して海岸線に細長く集落が形成されています。後方の傾斜地は恩納岳と連なり、そのほとんどが米軍キャンプハンセンです。伝統芸能が盛んなところで、毎年旧暦8月15日夜には組踊舞踊が催されます。瀬良垣漁港が第1種漁港指定を受けて整備されています。

太田

廃藩置県後、首里・那覇からの移住者によってつくられた屋取集落で、瀬良垣と恩納の間にあり、1946年に太田区として独立しました。東シナ海に突き出した前喜原の岬は優れた景観を誇り、天然のビーチのほか、大型リゾートホテルの万座ビーチリゾートがあります。

恩納

王府時代に間切番所(役所)が置かれたところで、現在の村役場、郵便局、商工会などがあります。集落北端の万座毛は県内有数の景勝地で、入口近くには王府時代にこの地に生まれた女流歌人・恩納ナビーの碑があります。プロイラー生産や花卉栽培が盛んで、第1種恩納村漁港があります。

南恩納

太田と同じく那覇・首里からの移住者によってつくられた屋取集落です。屋嘉田、赤崎、馬場の集落があり、馬場はかつて競馬場があったことに由来しています。戦前は宇恩納に含まれていましたが、昭和19年に分離し、南恩納区となりました。屋嘉田湯原では、アーサやモスクの栽培養殖が盛んです。

Autonomy of Citizens

Onna Village's communities, which are led by community building and the autonomy of citizens, continue to pass down traditional events and performance arts to this very day, while also carrying out planned community development initiatives, providing mutual support for childcare and senior citizen's welfare, and facilitating a smooth, stable and long-lasting life in the village. Each of these communities strives to support citizen activities that are in turn with the local communities and to offer the full autonomy of citizens.

Nakama

Nakama is the northernmost community in Onna Village, and borders Nago City and Ginoma Village to the east and Kin Town to the south. The communities of Nakama and Inbu are located along National Route 58. The community is surrounded by small and high mountains. Mandarin oranges are grown on the slopes of these mountains.

Kisenbaru

Kisenbaru is the only community in Onna Village not to border the ocean. In recent years, the community has been a major hub for the cultivation of flowers and ornamental plants. The success of this community is believed to have been related to a flower boom in Okinawa Prefecture.

Afuso

Afuso comprises the communities of Afuso and Atta and is a major center of rice cultivation. The community was a bustling stopover destination for junks in the area until 1914 when the prefectural road had yet to open.

Seragaki

Seragaki is a long and narrow community situated along the coastline and National Route 58. Traditional performing arts are a major draw of this community and kumiodori dance performances take place on the night of August 15 according to the Chinese zodiac.

Ota

After the prefecture was established, Ota prospered as the Yadori Village's bedroom community founded by people relocating from Shuri and Naha. Ota, which is situated between Seragaki and Onna Village, was established as Ota Ward in 1946. The community's Cape Maekibaru offers excellent views and it juts out into the East China Sea somewhat.

Onna

Onna was the site of a government office during the Ryukyu Kingdom Period. Today it is the site for the current village hall, post office, and chamber of commerce and industry. Manzamo, located at the northernmost tip of the community, offers some of the best views in the entire prefecture. The main industries of this community include broiler chicken production and flower and plant cultivation.

Minami Onna

Minami Onna is part of the Yadori Villages founded by people relocating from Naha and Shuri. Within this community there are also three others, including Yakata, Akasaki, and Umaba. Yakata and Katabaru. Yakata Katabaru cultivates asa and mozuku.

谷茶

古くからある集落で、軽快なリズムの歌と踊りで有名な沖縄民謡『谷茶前節』は、この集落にある谷茶前の浜での漁を題材にしています。富着との境の丘には「谷茶の丘老人ホーム」があります。旧暦6月25日には盛大な綱引が行われます。

富着

富着の集落は明治末期まで現集落の背後の台地にありました。集落にある天然のビーチは、夏場には海水浴客で賑わいます。サンマリーナホテル、カフーリゾートフチャクコンドホテル、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート、PGMゴルフリゾート沖縄などの観光・レジャー施設があります。

前兼久

地名は富着から見て前方の海岸を前ガニクと呼んでいたことに由来しています。かつては山原船の造船所もありました。海岸の景観が美しく、ムーンビーチホテル、マリンビューパレスなど、多くの観光保養施設があります。

仲泊

首里、那覇と名護、国頭のほぼ中間地点にあたり、旅人がここで一泊したことからその地名がついたといわれています。王府時代には近隣の物産が山原船によって那覇方面に運ばれ、明治43年県道が仲泊まで開通してからは、客馬車の終点、起点として栄えました。国指定史跡の仲泊遺跡があります。

山田

山田と久良波の2つの集落があります。山田集落の東南部の台地には15世紀に活躍した護佐丸の一族の居城といわれている山田グスクがあります。以前はグスクの下に集落がありましたが、戦後、現在の集落ができました。久良波は元々下方の浜辺にありましたが、戦後になって現在の場所へ移動しました。

真栄田

元々は読谷村の境界まで広がっていましたが、昭和24年塩屋と宇加地が分離しました。真栄田岬周辺の海域は沖縄でも有数のダイビングポイントとして知られています。集落周辺では土地改良が進み、一面にサトウキビ畑が広がっています。

塩屋

かつては真栄田の一部でしたが、昭和24年に隣接する美留とともに塩屋区となりました。地名はその昔、製塩業が盛んだったことに由来しています。美留は港として栄え、真栄田、塩屋の産物が運びだされていたほか、西海岸を航海する山原船の避難港でもありました。

宇加地

恩納村の最南端にあり、長浜川を境に読谷村と接しています。戦前までは真栄田の一部でしたが、昭和24年に宇加地、与久田の2集落で宇加地区となりました。地域の憩いの場として宇加地公園が整備され、美しい自然が残る恩納村の南の玄関口となっています。

Tancha

The famous rhythmic Okinawan folk song, "Tancha-meebushi," that has been sung and danced to throughout the village's history was drafted based on the catch at Tanchame beach in this community. Every year, on June 25 of the lunar calendar, a huge tug of rope tournament is held.

Fuchaku

Fuchaku was initially located on a plateau behind the current community up until the end of the Meiji period. The community's natural beach is bustling with people during the summer months, and the community is widely visited by tourists for its resort hotels, golf courses and other leisure activities.

Maeganeku

The name Maeganeku originates from when locals called the shoreline in front of Fuchaku by the name Maeganiku. The community was once a shipbuilding site that made Yambaru ships. The shoreline here is beautiful and there are many leisure facilities for tourists.

Nakadomari

The name nakadomari refers to the fact that this community almost exactly halfway between (naka) Shuri Castle in Naha and Nago and Kunigami and travelers used to stay here one night (domari). The community is home to the Nakadomari Ruins, which are designated a national historic site.

Yamada

Yamada comprises two communities: Yamada and Kuraha. The ruins of Yamada Castle were located on a plateau to the southeast of Yamada. This castle is believed to have housed Gosamaru and family, who contributed greatly to Okinawa in the 15th century.

Maeda

The waters near Cape Maeda are known for some of the best diving in all of Okinawa. Land improvements have taken place in and around the community and today it is mostly covered in sugar cane fields.

Shioya

Shioya was formerly part of Maeda, but it became Shioya together with the neighboring community of Biru in 1949. The name of the community originates from the fact the area was home to many salt manufacturers in the distant past.

Ukaji

Ukaji is the southernmost community in Onna Village and it borders Yomitan Village along the Nagahama River. Prior to World War II, this community was part of Maeda, but it became Ukaji together with the neighboring community of Yokuta in 1949.

村章・村木・村花・村民憲章

Official Village Emblem, Flower, Tree and Charter



村章

「オンナ」を水平に図案化し円は平和を表し村民の一致団結を意味し、左右に鋭く延長して平和の中にも村の飛躍発展の姿を象徴したものです。沖縄の本土復帰1周年を記念して昭和48年5月15日に制定されました。

Village Emblem

The official village emblem features a stylized horizontal rendition of the characters "onna," while the circle symbolizes peace and solidarity among village residents. The sharp and extended shape from left to right indicates that dramatic growth of the village took place within a state of peace. This emblem was created on May 15, 1973 in commemoration of the one year anniversary of the reversion of Okinawa to Japan.



村木 フクギ

フクギ(福木)オトギリソウ科
常緑色の木で、大地にどっしりと根を張り、平和と無限の繁栄を表します。

Village Tree: Fukugi (Happiness Tree)

Garcinia subelliptica
The fukugi, or happiness tree, is an ever-green that firmly plants its roots in the ground, symbolizing peace and limitless prosperity.



村花 ユウナ

ユウナ(右納)アオイ科
黄色の花で和やかな香りは、平和と純真を表します。

Village Flower: Sea Hibiscus

Hibiscus tiliaceus
The Sea Hibiscus' yellow flowers and calming fragrance symbolize peace and innocence.

恩納村民憲章 青と緑の豊かな活力ある村 Onna Village Charter

A Dynamic Community Symbolized by the Blue and Green of its Nature

私たちは、天然の美を誇る恩納村民であることに生きがいと責任を持ち、平和で明るく豊かな美しい村を築くために、みんなが力を合わせて実践する道しるべとして、ここに村民憲章を定めます。

〈私たちは〉

一、自然を愛し、自ら美しい村をつくります。

- ①花・みどりを大切に育てる村民
- ②生きものを大切にする村民
- ③身のまわりや村を清潔にする村民

一、人間を尊び、愛情豊かな村をつくります。

- ①あいさつを交しあう村民
- ②温かい心で交わる村民
- ②敬老心のある村民

一、きまりを守り、明るく村をつくります。

- ①時間を守る村民
- ②他人に迷惑をかけない村民
- ③公共物を大切にする村民

一、伸びゆく力を育て、活力ある村をつくります。

- ①青少年に一声かけあう村民
- ②積極性のある村民
- ③教育を身につける村民

一、心と体をきたえ、健康な村をつくります。

- ①スポーツに親しむ村民
- ②家庭を楽しむ村民
- ③働く喜びをもつ村民

We, the citizens of Onna Village, take pride and responsibility in our village full of nature's bounty and will aim to carry out the following charter to create a peaceful and vibrant community.

〈 We pledge 〉

1. To love nature and make efforts to create a beautiful community

- ①To be citizens that carefully nurture flowers and greenery
- ②To be citizens that value life
- ③To be citizens that are hygienic and keep the community clean

1. To respect people and build a community that accepts all

- ①To be citizens that greet one another
- ②To be citizens that treat each other with warmth and compassion
- ③To be citizens that respect their elders

1. To protect local customs and build a vibrant community

- ①To be citizens that value time
- ②To be citizens that do not cause a nuisance to others
- ③To be citizens that take care of public property and facilities

1. To nurture the ability to grow and build a dynamic community

- ①To be citizens that encourage to youth
- ②To be citizens that are proactive
- ③To be citizens that are educated

1. To develop our minds and bodies and create a healthy community

- ①To be citizens that enjoy sports
- ②To be citizens that enjoy their family
- ③To be citizens that enjoy their work

(Enacted April 1, 1988)

(昭63年4月1日制定)